

事例5-10

取組名	町内公民館予約管理業務のペーパーレス化		
町会名	かんばやしみなみあらい 神林南荒井町会（神林地区）	町会 データ	・人口／1,505人 ・世帯数／694世帯 ・高齢化率／26.6% ・町会加入数／266世帯 ・常会数／11部 ・隣組数／39班
取組概要	○ 施設予約無料アプリ「りざぶ郎」を導入し、公民館予約管理業務のペーパーレス化に取り組んだ。 ○ アプリ利用について説明会を開催し、町会住民に周知		

背景・課題

- ・ 町会内には、2カ所の公民館があり、本館（大広間・中広間・小広間・調理室）と、東館（大広間・小広間・調理室）の施設がある。
- ・ これまで公民館の予約については、公民館管理者宅に「公民館使用予約簿」（紙の予約ノート）を置いて管理してきたが、空き状況や予約の可否を確認するために、その都度、管理者宅まで出向く必要があり、日程調整にかなりの手間を要していた。

経過・取組内容

- ・ R7に町会のDX推進を検討する中で、上記の課題を解決するため、施設予約や備品予約、スケジュール管理などに使える無料アプリ「りざぶ郎」の導入を決定。
- ・ 6月、9月には、町会住民を対象に、アプリ説明会を開催した。
- ・ 説明会には、町会内の各種団体・サークルの関係者や常会長を中心に、1回目21人、2回目13人の参加があった。
- ・ なお、説明会の講師謝礼やポケットWi-Fiの利用に係る費用については、市の地域チャレンジ応援事業補助金を活用した。

成果・今後の展望等

- ・ 「りざぶ郎」の導入により、公民館の予約状況の確認や日程調整が簡単になり、利用者からは好評を得ている。
- ・ 公民館使用簿などの記録データの集計作業が容易になり、公民館管理役員の負担軽減にもつながった。
- ・ スマホ講習会の開催により、町会役員や住民のDXへの関心を高めることができた。



「りざぶ郎」の予約表画面



説明会の様子

【ポイント】

- ▼ 無料アプリを活用することで、町内公民館の予約管理業務をペーパーレス化